

キャリア・パスポートの活用

島根県立浜田高等学校
図書・研究部

浜田高等学校の山田です。令和3年度キャリア・パスポート活用事業の報告をさせていただきます。浜田高校ではキャリア・パスポートの研究を平成30年度から始め、今年度で4年目を迎えました。この間、ワークシートの開発と振り返りの充実だけでなく、「キャリア・パスポートの活用方法の研究」も同時に進めてきました。その中でも、進路指導への活用という観点で取り組んできた「進路ポートフォリオ」についてご報告させていただきます。

進路ポートフォリオとは

まず初めに、進路ポートフォリオとはどのようなものかご説明いたします。

3 進路ポートフォリオ

自分の資質・能力を自覚できる

- 3年間で成長した自分の記録ファイル
- 3つの資質・能力をアピール
- それぞれの資質・能力と体験・活動

進路ポートフォリオは★生徒1人1人が高校3年間で成長したことをまとめたファイルです。
ファイルは20ポケット、このファイルはキャリア・パスポートとは別のものです。★
このファイルの中で生徒は3つの資質・能力についてアピールします。★
3つの資質・能力それぞれに、それが成長した場面、活動、体験についての資料を入れていきます。★

4 進路ポートフォリオ

自分の資質・能力を自覚できる

3年 HIRAKU 進路ポートフォリオ ワークシート No.1 2021.4.14

3年()組()番 名前()

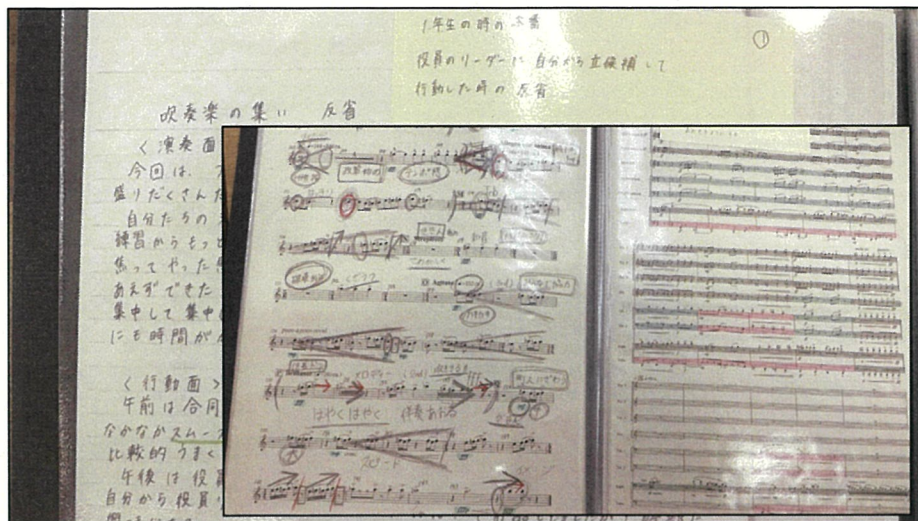
私の自覚の資質・能力は(資質・能力一覧から選んでもよい)

資質・ 能力			
どんな 資質・ 能力			

その資質・能力はこんな活動で育ちました

時期・ 日時			
出来事			

ファイルの1ページ目に入れるワークシートです。3つの資質・能力とそれが成長した場面、活動、体験をまとめるワークシートです。また、同時に、進路ポートフォリオファイルの目次の役割があります。★



生徒が実際に作った進路ポートフォリオです。部活動で書いたメモなどは、自分の思いなどが綴られており、後で読んだときに気づきがあることが多いと感じています。キャリア・パスポートでの記録は、行事直後や、学期ごとの振り返りであるため、記憶も明確です。★しかし、深く考察したり、他の活動とのつながりを考えたりするのは、進路ポートフォリオを作るこの機会が有効であると感じています。★



理想としては1つの資質・能力に対して2～3の活動を結び付けられることができると思います。例えばコミュニケーション能力で考えると、コミュニケーション能力が1つの活動で伸びるわけではありません。生徒自身が「授業や探究活動でも成長した」というような活動のつながりに気づけるように、授業中から教員も意識した発言をする必要があるでしょう。★写真を入れる生徒も多くいます。進路ポートフォリオは、まさにもう1つの卒業アルバムになります。

私の自慢の資質・能力は(資質・能力が身についた)得意)

資質・能力	思考力	記述力	集中力
どんな資質・能力	自分な考えを		
その資質・能力はこんな			
時期・日時	2年		
出来事	読書感想文		

野球規則	
1.01 野球場内の審判員は監督の指揮する9人のアウターからなる2つのチームの間で、互いに相手の審判員の権限のもとに本規則に従って行われる競技である。	
1.05 各チームは相手チームの選手を記録し、勝つことを目指す。	
考七訓	
1つ、考なき者は理想なし	
1つ、理想なき者は信念なし	
1つ、信念なき者は計画なし	
1つ、計画なき者は実行なし	
1つ、実行なき者は成果なし	
1つ、成果なき者は幸福なし	
ゆえに幸福を望む者は考なきべからず	

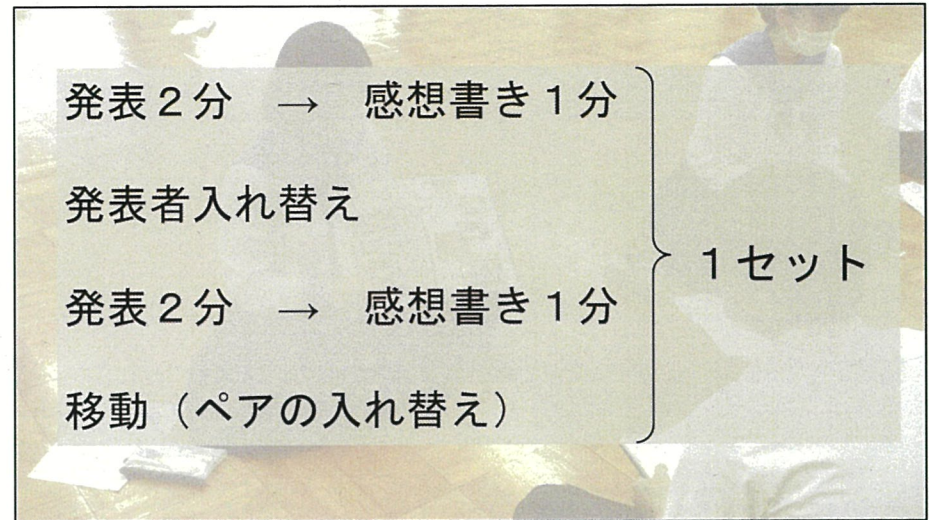


部活動1本で取り組んでいた生徒も、部活動ノートのような毎日の記録があれば記載できることも増えていきます。★具体的な活動を思い出しながら、成長した場面、資質・能力をイメージすることができます。★

進路ポートフォリオはキャリア・パスポートと違い、人に見せること、アピールすることを目的としています。そのため、保管はロッカーではなく、教室の本棚としています。他の人がどのようなものをファイルに入れているのか、休み時間や放課後に見ることも推奨しています。★



活動の様子です。発表会はトークフォークダンス形式で、2人1組をつくり互いに発表を繰り返していきます。★



気づいた点を指摘し合うことで、新たな可能性に気づいたり、発表の足りない部分を補う機会も生まれます。★

本校での発表会は2分の発表、1分で感想書き、発表者を替えて2分発表、1分の感想書き、移動1分の7分を1セットとし、これを3セット行ったのち、一度振り返りをします。この時間に発表の内容、順序を修正したり、中身を入れ替えたりすることで、より相手に伝わりやすい発表を作っていきます。その後、休憩をはさんでもう3セット発表を行います★

11 キャリア・パスポート

自分の成長場面を可視化できる

京都府立舞鶴高等学校 入学前課題

名前 ()

この表は、入学前の課題として、入学前から入学後にかけての活動を記録するためのものです。各欄に自分の活動内容を記入してください。

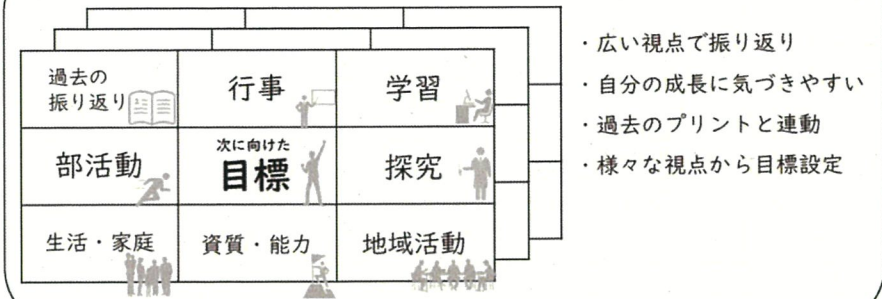
1	2	3
4	5	6
7	8	9
10	11	12
13	14	15
16	17	18
19	20	21
22	23	24
25	26	27
28	29	30
31	32	33
34	35	36
37	38	39
40	41	42
43	44	45
46	47	48
49	50	51
52	53	54
55	56	57
58	59	60
61	62	63
64	65	66
67	68	69
70	71	72
73	74	75
76	77	78
79	80	81
82	83	84
85	86	87
88	89	90
91	92	93
94	95	96
97	98	99
100	101	102

これらの活動を実現するためには、学期ごとに行うキャリア・パスポート、つまり学期の振り返りが非常に重要です。本校のキャリア・パスポートの特徴は、中期的な振り返りと長期的な振り返りをハイブリッドで実施することです。★

12 キャリア・パスポート

自分の成長場面を可視化できる

8つの振り返りと1つの目標



また、ワークシートの形式が振り返りやすくなるよう、9つの枠に区切っています。これにより常に広い視点で振り返ることができ、自分の成長に気づきやすくなります。また毎回同じ場所に同じ項目があるため、過去のプリントとの関連付けをしやすくなります。★

13 キャリア・パスポート

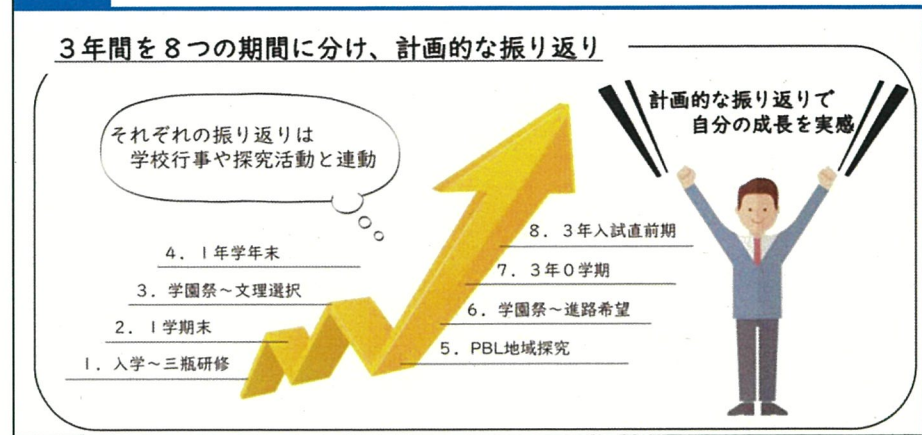
自分の成長場面を可視化できる

部活動	
2学期に何ができるようになった？	
力を入れて取り組んだことは？	
友達・先輩との出来事	
今、自分や部活動に足りないことは？	
成長したのは…	

これは先ほどのワークシートの一部、部活動に関する部分です。1つ1つのテーマで細かく質問するようにしています。具体的な活動について、記載するように求めています。そのため、ワークシートの記入だけで1時間の授業時間を必要とします。そして、重要視しているのは、★最後の項目です。必ず活動で成長した資質・能力を記入させています。この部分を埋めようとする中で、具体的な活動で成長した自分の資質・能力を考えるトレーニングになると同時に、他の活動とのつながりを考えるきっかけとしています。

14 キャリア・パスポート

自分の成長場面を可視化できる



これらの振り返り活動を3年間に計画的に組み込むことで生徒自身が成長を実感でき、3年次に活用できる状態になると考えられます。学年ごとにワークシートを作成するようつながりのない状態では効果的な進路ポートフォリオを作ることはできないと感じています。★

15 進路ポートフォリオ

自分の資質・能力を自覚できる

観点	観点的説明	不十分 (0~1点)	もう少し (2点)	標準的 (3点)	すばらしい (4点)
資料の有無	ポートフォリオが自己の振り返りのための書類として機能するための前提として、資料の有無を見る項目	資料がまったくない、または数枚のプリントを入れてだけ	おおむね5ポケットに入るほどの資料がファイルされている	おおむね10ポケットに入るほどの資料がファイルされている	15~20ポケットを越えて十分な資料がファイルされている
資質・能力の設定	相手に自己PRをすることを前提とした資質・能力の設定や説明の内容を見る項目	資質・能力の欄が3つ埋まっているが、それについての説明が書けていない	資質・能力を3つ設定しているが、それについての説明が書けていない	資質・能力を3つ設定し、どのようなものかについて説明ができています	資質・能力を3つ設定するとともに、独自の視点でその資質・能力を捉え、説明している
活動	具体的な出来事やそれについての資料の質について見る項目	具体的な出来事が3つ書けていない	具体的な出来事が3つ書けているが、説明があいまいで、どのような出来事なのか伝わらないものがある	具体的な出来事が3つ書かれており、その出来事について知らない人が見てもわかるように丁寧に説明している	具体的な出来事3つについて、丁寧な説明とともに豊富な資料をファイルに入れ、誰が見てもその活動の様子が分かる
独自性・工夫	評価者を意識したポートフォリオの見せ方について、独自の工夫がなされているかを見る項目	資料を入れただけである	資料にマーカーを引くなど、PRしたい部分に注意が集まるような工夫がある	資料にマーカーを引いたり、付箋を貼るなどし、資料のどの部分を見てほしいのかであったり、資料の説明であったりを通宣挿入し、見る人を楽しませる工夫がある	マーカーや付箋、その他文具等を用い、資料をより見やすく、より楽しく見せる工夫がなされているとともに、評価者だけでなく、自分自身が楽しむことができる工夫がある

また、生徒に「良い進路ポートフォリオとはどのようなものか」という指針を示すことができるよう、評価の基準をルーブリックという形で明らかにしています。この評価は総合的な探究の時間の評価としても使用しています。

★

16 進路ポートフォリオ

自分の資質・能力を自覚できる

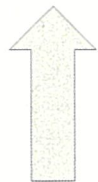
- ・進路部 面接指導研修
- ・学年部 志望理由書の指導

しかし、進路ポートフォリオを作成しても、教員が上手に導かなくては作ったものが無駄に終わってしまいます。本校では進路部の面接指導研修の際に、キャリア・パスポートが面接指導の初期指導に非常に有効であることを説明してもらっています。また、担任の先生方には進路ポートフォリオに目を通してもらったうえで志望理由書の添削を行ってもらっています。★

17 進路ポートフォリオ

自分の資質・能力を自覚できる

抽象 ... 資質・能力



具体 ... 活動、体験、学び

キャリア・パスポートにおいても、進路ポートフォリオの作成においても、指導の際に意識していることがあります。それは、★具体的な活動から★資質・能力に抽象化させることです。★具体的な1つ1つの活動につながりが見えなくても、資質・能力に抽象化させることで、つながりのある1つの活動と見ることができ、継続的に成長してきたことを実感させることもできます。★

18 進路ポートフォリオ

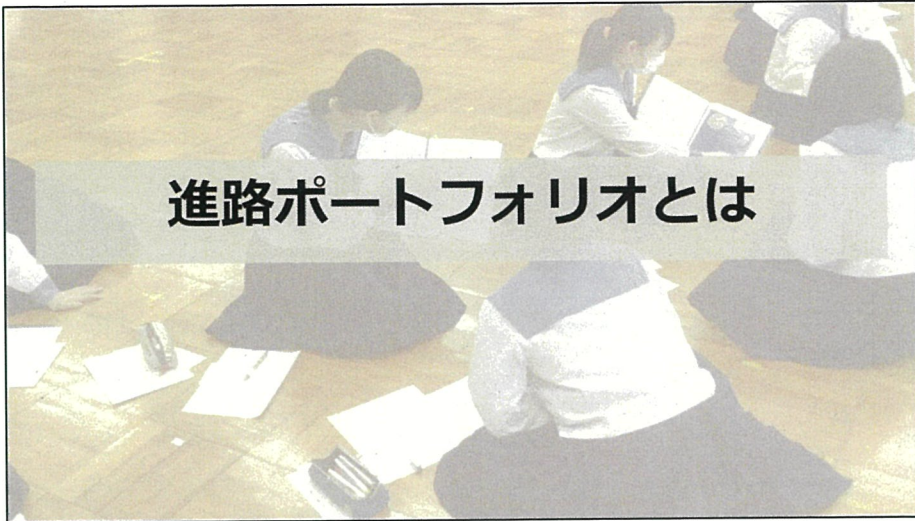
自分の資質・能力を自覚できる

コミュニケーション能力



体育祭 地域の祭

具体的には、★体育祭と地域の祭りのボランティアという活動に強い思い入れがある生徒がいたとします。それらの活動で成長した自分の資質・能力が★コミュニケーション能力という共通の能力であることに★気づくことができます。また、この整理から、体育祭の中でもチームで話し合いをした場面、地域の祭りでも地域の大人の人と意見交換をした場面が、アピールに適していると考えられることもできます。このように、具体から抽象というトレーニングを様々な場面で生徒に意識させることで、面接指導、志望理由書作成の際などに、自分の強みを語る事ができる生徒が育つのではないのでしょうか。★



進路ポートフォリオとは

進路ポートフォリオは「作るだけ」、あるいは「発表するだけ」で生徒のメタ認知の力が伸びたり、進路実現がしやすくなる、といったことは決してありません。3年間の計画を綿密に立て、繰り返し生徒に問いかける近くの大人、教員の存在が必要不可欠であると感じています。きっと就職や進学の面接指導をしておられる先生方は、生徒の指導の中で、対話によって力を伸ばしていく生徒を日々見ておられると思います。進路ポートフォリオの作成は、そういった生徒の力の底上げをする教材ではないかと思います。少しでも先生方のお力になれば幸いです。以上で報告を終わります。ご清聴いただきありがとうございました。